

所信表明

令和2年11月26日

富津市長 高橋 恭市

所信表明

富津市長として2期目の市政を担わせていただき、改めて、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

昨年は、富津市がこれまでに経験したことがないような台風の襲来があり、また、今年も、誰も経験したことのないコロナ禍の終息が見通せない状況が続いています。

日本国全体では少子高齢化が進展し人口減少が進む中、コロナ禍による新しい生活様式が、これまでの経済や社会のシステムを大きく変える可能性があります。

そのような認識のもと、1期目の経験をもとに、多くの方に選ばれる「住みたいまち富津市」を目指して、8つの政策を掲げ市政運営を進めてまいります。

まず1点目は、『安全、安心なまち“富津市”』であります。

自然災害が激甚化しつつあることから、災害対応力、地域防災力の強化を図ってまいります。

昨年の台風災害の経験を活かし、地域防災計画を改定します。また、情報発信の要となる防災行政無線のデジタル化と安全安心メールの機能強化を図り、情報伝達手段の多重化・多様化を進め、確実な災害情報の伝達に努めます。

地域防災の大きな柱である消防団活動の支援、自主防災組織の結成育成の推進、地域の特性に合った防災訓練の実施などに取り組んでまいります。

2点目は、『子育てしやすいまち日本一“富津市”』であります。

妊娠期から子育て期を通して、きめ細やかな子育て支援に係る施策を実施してまいります。

不安になりがちなお父さん、お母さんの気持ちに寄り添い、その不安感の軽減を目指し、相談しやすい環境を充実させるとともに、病児保育施設、放課後児童クラブの確保に努め、加えて、児童遊園地、子供の遊び場を安全で楽しい場所にしてまいります。

3点目は、『健幸都市“富津市”』であります。

健康の「健」に幸福の「幸」と書いて「健幸」、市民の皆さんが共に健康で、幸せに暮らせるまちを目指し、各種の施策を実施します。

がんや、生活習慣病から市民の皆さんの健康を守るため、早期発見、早期治療につなげるためのがん検診受診率の向上や、予防のための特定健康診査、保健指導等の充実を図ります。

また、各種イベント等の企画により体育施設の利用を促進し、市民の皆さんの

運動習慣、運動意欲の向上を図ります。

また、高齢者がフレイルを予防し、健康寿命を延ばせるよう、いきいき百歳体操活動団体のさらなる増加を図ってまいります。

富津市には、誇れる海産物、農産物がたくさんあります。その食材を活かし、健康の源である食事を通した健康指導についても実施してまいります。

君津中央病院大佐和分院は、地域にとって必要不可欠であるばかりでなく君津圏域全体の医療体制を支える大変重要な拠点病院であることから、その経営を守るため必要な措置を講じてまいります。

4点目は、『快適で便利なまち“富津市”』であります。

市民の皆さんの利便性向上のためには、道路網の整備は必要不可欠であります。

市道下飯野線、浅間山線の整備を推進し、都市計画道路神明山1号線の事業推進を県に働きかけるとともに、既存道路等の予防保全的な修繕事業を計画的に進め、道路網の充実、整備を図ってまいります。

5点目は、『教育環境改善“富津市”』であります。

心豊かでたくましい児童、生徒を育成する教育力の高い学校づくりのため、施設の改修を始め、各種の施策を着実に実施してまいります。

国のGIGAスクール構想による補助金を活用し、児童生徒1人に1台のパソコンと、各学校に高速大容量の通信ネットワークを整備します。

また、小中学校のトイレ洋式化や安全で食物アレルギー対応ができる新学校給食共同調理場の建設など、将来を担う子どもたちの教育環境の整備を進めてまいります。

6点目は、『産業が元気なまち“富津市”』であります。

農業においては、担い手の育成や経営の法人化支援を進め、安定した農業経営の確立に取り組んでまいります。

漁業においては、ノリ共同加工施設や荷さばき施設を整備し、生産者の労力軽減と経営の安定を図ってまいります。

また、様々な手法を検討しながら特産品の直売所の設置を目指し、基幹産業である第一次産業を支えてまいります。

農作物ばかりでなく生活環境にまで被害が深刻化している有害鳥獣対策については、これまでの対策に加えて、民間企業との協働により対策を強化してまいります。

新規創業、事業承継の支援を促進するための補助を引き続き行い、事業者や後継者へのサポートを実施し、まちの活性化を図ってまいります。

近代遺産の海上要塞である「第二海堡」と富津公園内の砲台などの遺構を新たな観光資源に育て、更なる交流人口の増加を図ってまいります。

7点目は、『誰もが住んでよかったと実感できるまち“富津市”』であります。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各種施策を実施してまいります。

介護保険事業では、関係団体と協力して利用者の視点に立ち、切れ目のない医療、介護の提供体制を進め、生活支援体制の強化を図ってまいります。

高齢者福祉では、認知症を患っている方に対する支援体制を整備するとともに、支援を必要とする家庭を早期に発見し、迅速に継続的な支援を行ってまいります。

障がい福祉では、障がいにより地域での生活に困難を抱えている方とその家族などに対して、障がいの種別や年齢にかかわらず、各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行う障がい者基幹相談支援センターを設置します。

8点目は、『健全財政のまち“富津市”』であります。

引き続き、将来を見据え、財政基盤の強化を確実に図るため、富津市健全な財政運営に関する条例に基づき、中期財政計画を作成し、市政運営を行ってまいります。

また、公共施設については、人口減少により施設は過剰となり、税収の増加も見込めなくなることから施設をそのまま維持することは、困難であります。

このような状況から、必要な行政サービスをできる限り維持しつつ、これまでできなかった新しい行政サービスを提供していくために、市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、公共施設の再配置に取り組んでまいります。

以上、8点を述べさせていただきましたが、今後、市が目指す将来像を分かりやすく示すため、市の最上位に位置付ける新たな構想を市議会の皆さんのご意見を伺いながら、市民の皆さんとともに策定してまいります。

誰もが「住みたいまち富津市」を目指し、今後も、市の課題に正面から向き合い、これから親になる世代の若者をはじめ多くの方々に選ばれる富津市となるよう、また市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくりのため、全身全霊で取り組んでまいりますので、市民の皆さん、議員各位のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、市長2期目にあたっての所信といたします。